

あなたと町政を結ぶ



みのぶ 議会だより

令和7年
6月定例会
No. 83

下山小学校3年生による
あけぼの大豆の種まき
(R7.6.20)

身延地区

町民と議員との懇談会

日時：令和7年5月17日(土)午後7時～午後8時28分

会場：身延地区公民館 下山分館

参加者：計18人(町民5人、議員11人、事務局2人)

質疑応答

Q 身延町は子育てには素晴らしい補助がある。しかし人口は減ってしまっている。どうしたら良いか本気で考えてほしい。(身延地区 男性)

Q 身延町の補助制度を知らないために、移住を諦める人がいたが。

(豊岡地区 男性)

A 町外の人にも子育てなどの町の良さをアピールしているが、まだまだ浸透できていない。行政にも働きかけの強化を訴える。

Q 農業をしていた若者がいたが鳥獣害がひどく、生活が成り立たなくなった。移転費・住宅改修費などを補助してくれる他県に移住したが。

(豊岡地区 男性)

A 鳥獣害が多く町内全域で苦慮している状況である。行政として県などに更なる支援を要請するよう伝える。

Q 農業の省力化のために農機具バンクを作ってほしいが。(豊岡地区 男性)

A あけぼの大豆拠点施設にレンタル農機具がある。この農機具を利用してほしい。



Q 地域の生活環境を良くするために、集落内の里道などの草刈りの補助制度の創設や町の管理にしてほしいが。(高齢者が多く苦慮している)

(豊岡地区 男性)

A シルバー人材センターを利用することも出来るが、区からの要望事項として町に出してほしい。

Q 町の収入を増やすために、宗教団体から固定資産協力金を徴収できないか。(久那土地地区 男性)

A 国で決めている法律に従っているため、町としては出来ない。

Q 貸家農地バンクを設置したらどうか。(豊岡地区 男性)

A 既に空き家バンクも農地をセットにしている自治体もある。本町でも可能性があるとと思われるため、担当部署に伝える。

提言・意見・要望

○人口減少問題が深刻である。町に愛着を持たせることが必要。また女性の流出を特に考えてほしい。

○山村留学・農村体験留学制度などを設けたらどうか。

○防災アプリはとても便利である。しかし高齢者にはインストールしにくい、もっとPRと指導をしてほしい。



みのぶ防災・行政ナビアプリのインストールはこちらから
(表示・ライブビジョン)

中富地区

町民と議員との懇談会

日時：令和7年5月24日(土)午後7時～午後8時29分

会場：中富地区公民館(中富総合会館)

参加者：計36人(町民22人、議員13人、事務局1人)

質疑応答

Q 飯富病院の現状について、入院患者の状況と経営内容は。また今後、どのように運営していくのか。

(西嶋地区 男性)

A 町自体の人口減少に伴い、医療需要も減少している。特にここ数年経営がとんでもなく、今年度も4億円近い赤字が予想され、町の負担金も3億円前後になる見通しである。毎年この額の負担金拠出が続くことは町にとって好ましくない状態である。飯富病院に限らず、身延山病院、南部診療所も含め経営状態が厳しいため、峡南南部地域(3町・2病院・2診療所)で診療科目の再編などを図り、将来にわたってかかりつけ医を持続可能に提供できるように協議している。

Q 病院の収益的構造の内容は。

(西嶋地区 男性)

A 保険診療の部分と不採算医療の部分へき地医療、国庫補助金などが主な収益となっている。

Q 町内の道路整備に係る請願について、議会で採決されたと同っているが、内容の説明を。

(西嶋地区 男性)

A 道路整備に関する請願はこれまで三沢市之瀬間のバイパス建設促進と中部横断自動車道中富ICから国道300号を結ぶ道路の建設に係る請願が採択されてきた。

2つの請願に対する優先順位を決める採決では三沢市之瀬間のバイパス建設促進を優先すべきとされた。最終的には県が決めることとなる。



多くの町民の方にご参加いただきました。「ふれあい懇談会」(5ページ参照)もございまして、お気軽にお申し込み下さい。より身近なお話ができます。

Q 道路建設要望について、地元議員の意見を聞きたい。

(西嶋地区 男性)

A 地元では長年、三沢市之瀬間バイパス建設促進の署名活動を行ってきた。住民生活に関わる重要な道路で早期の実現をお願いする。

A 三沢市之瀬間のバイパス建設促進は、旧下部町の住民にとつての悲願である。既存の道路は地元の人たちの重要な生活関連道路であるが、峠越えとカーブが多いため、降雪時にはスリップ事故も多く発生している。バイパスの早期の建設をお願いする。

提言・意見・要望

- 総合会館前の駐車場が暗いので、照明をつけてほしい。
- 駐車場に水たまりが多いので解消してほしい。
- 町道・県道・国道沿いに草が繁茂し危険なため、対処してほしい。
- 指定管理の経営状況について広報等を通じて報告してほしい。
- 合併特例事業債の内容(基金、建設資金)のハム開をしてほしい。

懇談会での質疑応答、提言・意見・要望等を抜粋して掲載しています。

下部地区

町民と議員との懇談会

日 時：令和7年5月31日(土)午後7時～午後8時40分

会 場：下部地区公民館 久那土分館(働く婦人の家)

参加者：計30人(町民16人、議員13人、事務局1人)

質疑応答

Q 年間100億の予算を審議する議会において、本来、議員定数を減らすべきではなく、報酬についてももっと上げてほしいと思う。議員定数を2名減らして12名にした理由は。

(下部地区 男性)

A 人口減少が進み地方を取り巻く環境は厳しさを増す一方、情報化の推進により社会環境は大きく変化しており、全国的に定数削減の流れがある。当町においても、全国及び県内町村議会の状況を鑑みたくうえで、議会改革の一環として、効率的でより効果的な議会運営を図るため削減した。

Q しだれ桜の里事業など、執行された予算が成果として現れるのはいつなのか町に経過報告を求める。しだれ桜を一例として挙げたが、他の事業についても同様である。(久那土地区 男性)

A しだれ桜は年を追う毎に咲き誇ってきている。それと比例し交流人口も着実に増えているが、メンテナンス費との兼ね合いは大事である。成果は定期的に報告してもらい、議論する必要がある。

Q 道の駅にしじま和紙の里かみすきパークには、8億6千万円の整備費が使われているが、以前、美術館だったスペースは、がらんとしているし、元々あった段差もそのまま、使いやすくなっていないと感している。これだけの整備費をかけただけの価値ある施設になったのか、理解できないが。

(西嶋地区 男性)

A 道の駅にするため、駐車場の拡張や24時間トイレの新設、レストランの改修と既存の建物のメンテナンスを行ったが、やむを得ない施工の変更や物価の高騰により費用がかさんだ。経営コンサルタント、指定管理者とも協議する中で、価値ある施設を目指している。

Q 指定管理者については、各施設において収支報告書が毎年提出されていると思うが、近隣町のように議会、たよりにて公開してもらいたい。

(久那土地区 男性)

A 指定管理施設の収支については、各担当とも協議のうえ、議会、たよりに掲載したい。

提言・意見・要望

○町では大きな事業を沢山実施しているが、企画、立案のチェックや、その後の検証をしっかりと行ってほしい。

○令和7年3月定例会で三沢く市之瀬間バイパス建設にかかる請願を最優先案とする決議案が可決されたので、このまま進めてほしい。

○道路問題だけでなく、議決されたことは関係者一丸となり、頑張って取り組んでほしい。



身延町の未来や身近なことを議員と語りましょう

令和7年度
身延町議会

ふれあい懇談会

「ふれあい懇談会」は、集落や団体等の少人数（5名以上）の皆様と、より身近に、より気軽に座談会形式で話し合いの場をもちたいと考えて昨年度より始まった企画です。

集落や団体などを募集します！

応募は5名以上集まれば可能です

開催地区：3地区【身延・下部・中富】×2箇所ずつ

参加議員：5名前後が伺います

実施時間：60分程度



開催月：11月・1月

【申込書】

以下の項目を記入しお申込み下さい

お申込み後、担当議員より代表者様に電話連絡を致します

- ①申込み団体名 []
②代表者名 []
③代表者連絡先 [- -]

※当日、会場で連絡がとれる携帯電話番号の記入をお願いします

- ④実施希望日：第2希望日までをお知らせください

第1希望日時 [月 日 () 午前・午後 時 分]

第2希望日時 [月 日 () 午前・午後 時 分]

※開催月は11月 or 1月になります

- ⑤実施会場 []

※公民館や集会所等、町内ならどこでも構いません

※会場の手配は、お手数ですが申込み団体の方でお願いします

- ⑥参加予定人数 [名]

- ⑦FAX 申込先 0556-42-2127

お問合せ先 身延町議会事務局 電話：0556-42-4807（直通）

令和7年
第2回定例会
(6月9日～13日)

会期5日間
おもな議案

いずれも原案可決

専決処分3件・繰越明許2件・条例改正1件・
補正予算6件・請願1件 **合計13議案**

追加議案

補正予算1件・財産取得2件・発議1件

合計4議案

議案第49号 令和7年度一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出 5489万2千円 増額

歳入歳出合計 93億3589万2千円

おもな歳入補正

※一万円未満は切り捨て表記

地方債の補正

過疎対策事業債

- 限度額 2億4218万円(288万円追加)
- ・橋梁長寿命化事業 158万円
(前橋橋梁修繕工事及び西島洞門修繕工事に充当)
- ・通学対策事業 130万円
(スクールバス運行業務に充当)

緊急自然災害防止対策事業債

- 限度額 2430万円(410万円追加)
- ・道路橋梁維持管理費 410万円
(町道飯富市街波高島道路維持工事に充当)

緊急防災・減災事業債

- 限度額 4150万円(1160万円追加)
- ・消防車両等整備事業費 1160万円
(可搬式消防ポンプ5台に充当)



インバウンド対応看板改修事業

ギカイのギモン ◆地方債ってナニ？

※自治体が資金(財源)を調達(確保)するために発行する債権のこと(いわゆる借金)。

道路や公共施設などは、建設後も将来にわたって使用するため、1会計年度を超えて借入れを行ない財政的負担の平準化をはかります。地方債の種類によっては、70%や50%など交付税措置される有利なものもあります。しかし、あくまで借金ですので、起債のし過ぎや償還(返済)には慎重かつ計画性が求められます。

使用料及び手数料656万円増額

総額8623万円

国庫支出金4187万円増額

(定額減税不足額給付金事業費に充当)

総額6億5272万円

県支出金514万円増額 総額5億1201万円

衛生費県補助金 14万円増額

(猫不妊・去勢手術助成事業補助金に充当)

商工県補助金 488万円増額

(インバウンド対応看板リニューアル業務に充当)

繰入金114万円計上(介護保険特会繰入金)

総額10億9421万円

繰越金2771万円減額 総額2億8035万円

諸収入930万円増額 総額8513万円

派遣職員給与費 450万円計上

コミュニティ助成事業助成金 480万円計上

町債1858万円増額 総額6億8668万円

(上記、地方債の補正参照)

報告第4号 令和6年度一般会計補正予算(第9号)

歳入歳出	200万円増額
歳入歳出合計	102億3085万3千円
歳入 寄附金	200万円増額 (長澤 格様、小林常孝様より各100万円)
歳出 ふるさと応援基金	200万円増額

ギカイのギモン

◇追加議案??

※追加議案とは、議案は通常、議会の開会日に提出、上程されますが、さらに別の議案を、会期中の後日に追加して提出、上程される議案。



緊急修繕が必要となった
タイル落下が見られる
文化会館外壁

追加議案

令和7年度一般会計補正予算(第2号)

教育費【文化振興費】の増額

(総合文化会館外壁緊急修繕 850万円)

財産の取得

消防積載車1台	692万5千円 (配備先：身延第4分団第5部) (購入先：オートサービス若林)
消防用小型動力ポンプ5台	1108万2500円 (配備先：身延第4分団第5部ほか) (購入先：三和防災(株))

発議 第3号 ギカイが注目!

訪問介護報酬の引き下げ撤回と介護報酬引上げの再改定を早急に行うことを国に求める意見書の提出

おもな歳入補正

総務費【総務管理費】の増額

コミュニティ助成事業補助金	480万円計上 (対象：仲町区、下大島区 各240万円)
観光資源の魅力アップ事業費	978万円計上 (インバウンド対応誘客看板リニューアル業務)
低所得者支援及び定額減税補足給付金費	4345万円増額

民生費【社会福祉費】の増減額

国民健康保険特別会計繰出金	66万円減額
介護保険特別会計繰出金	38万円増額
後期高齢者医療特別会計繰出金	44万円増額

衛生費【保険衛生費及び水道総務費】の増減額

その他予防費	973万円減額 (地域医療連携推進法人負担金)
環境衛生事業費	28万円計上 (猫不妊・去勢手術費補助金)
医療整備事業費	1062万円計上 (地域医療連携推進法人負担金)
水道事業公営企業会計繰出金	180万円減額

農林水産費【農業費】の増額

農業振興事業費	367万円増額 (地域おこし協力隊募集業務319万円) (本栖湖レイクトラウト対策事業費補助金30万円) (やまなし新規就農アシスト事業補助金18万円)
---------	---

ギカイのギモン

◇ホセイ?補正予算ってナニ?

※町の予算は、前年度の10月頃より検討を重ね、3月定例会で当初予算として承認されます。しかし、4月以降の人事異動や、新たに生じた要求や緊急事態に対応するために編成される追加や修正の予算のことを、補正予算といいます。予見し難い事態への適切な対応を可能とします。

土木費【下水道費】の増額

下水道事業公営企業会計繰出金 242万円増額

消防費【消防費】の増額

消防団施設管理費 36万円増額
(和田地区消防詰所新築工事確認申請業務)



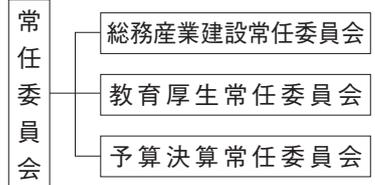
本栖湖駆除対象の産業管理外来種のレイクトラウト

教育費【社会教育費及び保健体育費】の増額

集落公民館整備費補助金	26万円計上 (対象集落：下山荒町区)
体育施設費	40万円増額 (甲南スポーツ広場運営管理費)

常任委員会レポート

委員会は、議会に提出された議案などを、集中的に審査するために設置された議会の内部機関です。常任委員会では、付託された議案について、質疑等により所管課から説明を受け、審査を行います。審査が終わると採決が行われ、委員会としての賛否が決定し、再び本会議で議題となります。ここでは、その審査内容を抜粋して掲載しています。



予算決算常任委員会
委員長 伊藤雄波

▼議案第49号
令和7年度一般会計補正予算
(第1号)

企画政策課関係

佐野昇副委員長 コミュニティ

助成事業補助金が2件計上されているが、年間2件という制限があり、複数の申請の中から2件が選ばれたのか。そうであれば審査基準はあるのか。

答 申請件数に制限はなく申請自体が2件だった。審査は事業主体である自治総合センターが行う。

佐野昇副委員長 申請しても採択されないケースはあるのか。

答 事業内容により不採択になるケースもある。不採択の理由は開示されない。

コミュニティ助成事業補助金

【対象団体】

- ・下大島区(大河内地区)
- ・仲町区(身延地区)
- ※住民が自主的に行うコミュニティ活動の促進のための備品の整備に関する補助金

交通防災課関係

遠藤公久委員 消防施設管理

費の委託料、身延第4分団第5部消防詰所新築工事確認申請について、補正予算計上の理由は。

答 令和7年4月に建築基準法の改正があり、建築確認審査の建物区分が見直され構造審査を省略できる範囲が狭まり、今年度建築する消防詰所が建築確認申請の対象となつたため、建築確認申請業務委託料を補正するものである。

◎既存の消防機庫



産業課関係

佐野知世委員 レイクトラウト

対策事業費補助金30万円について対策内容は、また、隣接する富士河口湖町との負担割合は。

答 対策事業の内容については、레이크トラウト釣り大会の実施である。富士河口湖町と

湖面の比率によって費用負担を按分する。また、直接被害を受けている本栖湖漁協からの負担金もある。

佐野知世委員 大会の時期は、10月上旬の想定である。

◎本栖湖での레이크トラウトの確認と取り扱いについて(山梨県ウエブサイト参照)



渡辺文子委員 地域おこし協力

隊募集の委託料については、どのような内容か。

答 ホームページや移住相談会等で募集をかけてきたが、思うような応募はない。全国的に購読率の高い移住定住雑

誌TURNSの広告掲載で改善を図る。

渡辺文子委員 広告だけこの予算か。

答 2回の記事掲載に加え、ウェブでの展開もある。

佐野昇副委員長 昨年はこの委託料はなかったのか。

答 誌面等掲載は今年度初めての試みとなる。総務省も地域おこし協力隊事業に力を入れており、募集の事業費は350万までは特別交付税措置の対象となる。

観光課関係

遠藤公久委員 委託料のインバウンド対応誘客看板リニューアル業務の概要は。

答 各情報の時点修正、新たに登山情報、防災関連情報などの追記、ウェブサイトと連動し、情報を入力できるような内容を検討している。言語表記は日本語と英語で、町内各施設にある12カ所の案内看板を更新する予定である。

遠藤公久委員 本栖湖公衆トイレの修繕費が計上されているが、昨年度も修繕費の補正予算の対応があったがそれとの関連性は。

答 昨年度の内容は、公衆トイレへ送水するポンプの修繕で、今回の修繕は浄化槽内の

ブローカー故障による内容である。

◎本栖湖公衆トイレ



渡辺文子委員 会議はどのように進めているのか。

答 事務担当による会議は、みなみやまなし事務局により調整し進めている。

遠藤公久委員 法人への3町の負担比率は。

答 法人本部運営経費は5法人で均等に負担しており、業務経費は3町が均等割10%、人口割90%として負担している。

答 国庫負担基本額の国の算定方法は、前々年度の実績額に過去3年間の伸び率の最大値を乗じて算出される。基本的に交付申請のみで、原則として変更交付は行わないとされており、実績報告において返還または精算交付となるので、実績額を算出した結果である。

田中一泰委員 還付金が高額になっているのは、被保険者数の減少によるものか。

答 そのとおりである。高齢化率は上昇しているが、人口は減少している。それに伴い被保険者数も減少している。

田中一泰委員 サービス利用を控えているということがあるのか。

答 支援の方の利用も増えているので、そのようなことはないかと推測している。



▼議案第52号

令和7年度介護保険特別会計補正予算(第1号)

福祉保健課関係

渡辺文子委員 介護給付費負担金の還付金が高額になっているのはなぜか。

答 町単独工となるが、県から移設依頼のあった水道管移設工事となるので、今後、

移設補償を含め対応を確認していく。

佐野知世委員 今後、県から補償があるということでしょうか。

答 今後の工事内容にもよりますが、県からの依頼となるので一部補償となると考えている。

渡辺文子委員 県道身延線電線共同溝工事の水道管移設工事の場所はどこか。

答 門内橋町の玉川楼と日吉組の付近である。

◎工事場所付近



市川司委員 水道事業費用の給料・手当・法定福利費が人事異動により減少しているが、通信運搬費の増加はなぜか。

答 4月から水道担当が6名から8名になり、業務用携帯電話を2台追加するためである。給与関係の減少は配属された職員の年齢・等級が下がったことによるものである。

▼議案第54号
令和7年度下水道事業会計補正予算(第1号)

下水道課関係

遠藤公久委員 社会資本整備総合交付金額が32万6千円減額となっており、当初予算時交付金額と比べて約10%の減額になっている。想定内の減額か。要因についてどのように分析しているのか。

答 想定内の10%の減額である。国全体でこの交付金の活用希望額が多く、交付額が申請額に満たない状況となった。今後については、交付金の流用希望調査があるので追加要望して財源確保に努めていく。

佐野知世委員 中富浄化センターし尿受入検討に係る負担金は早川町分の負担金なのか。

答 その通りである。早川町のし尿・浄化槽汚泥を引き抜いて中富浄化センターのし尿処理施設で処理を行うための検討業務にかかる早川町分の負担金である。

福祉保健課関係
渡辺文子委員

地域医療連携推進法人みなみやまなしの構成、事業内容は。

答 法人の役員は、代表理事・身延町長、他理事・早川町、南部町の2町長、飯富病院、身延山病院の2院長、南部町診療所長、監事に身延山病院理事の身延山久遠寺庶務部長となっている。職員は、事務局長と他関係する組織の職員が事務局員となっている。法人の事業内容は、医療連携推進方針により峡南南部地域における医療連携推進業務として、統合再編事業を進めている。

議案に対する賛否

(賛成：○・反対：×・欠席：欠)



市川司	遠藤公久	深山光信	佐野昇	山下利彦	佐野知世	伊藤雄波	望月悟良	広島法明	野島俊博	田中一泰	渡辺文子	伊藤達美	上田孝二
-----	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

第2回定例会(6月9日) 13日

●報告		●議長は賛否同数のみ採決に参加します。															
報告第2号	専決処分の承認を求めることについて(身延町税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第3号	専決処分の承認を求めることについて(身延町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第4号	専決処分の承認を求めることについて(令和6年度身延町一般会計補正予算(第9号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第5号	令和6年度身延町一般会計繰越明許費繰越計算書について	報告のみ															
報告第6号	令和6年度身延町下水道事業会計繰越費繰越計算書について																
●条例の一部改正																	
議案第48号	身延町町営バス設置条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
●補正予算																	
議案第49号	令和7年度身延町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第50号	令和7年度身延町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第51号	令和7年度身延町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第52号	令和7年度身延町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第53号	令和7年度身延町水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第54号	令和7年度身延町下水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
●請願																	
請願第1号	訪問介護報酬の引下げ撤回と介護報酬上げの再改定を早急に行うことを国に求める意見書提出に関する請願書について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
●追加議案																	
議案第55号	令和7年度身延町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第56号	財産の取得について(消防積載車1台)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第57号	財産の取得について(消防用小型動力ポンプ5台)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第3号	訪問介護報酬の引下げ撤回と介護報酬上げの再改定を早急に行うことを国に求める意見書提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

内容については、P6～7の「第2回定例会おもな議案」をご覧ください。

第2回定例会 一般質問 6月10日(火)

1 伊藤達美 議員

- 公営企業会計移行に伴う上下水道事業の現状と将来について
- 一般会計から特別会計への繰出金支出の適正化について
- 負担金などの支出の適正化について
- 垣根を越えた地域公共交通の効率的な運用について
- 飯富病院の統合に向けての諸問題について

2 遠藤公久 議員

- 蛍光灯 2027 年問題と公共施設への対応について
- 役所窓口『時短』対応と町民サービスの両立について
- 自治体職員の副業推奨について
- 防災アプリ導入について
- ライフサイクルコスト策定について

3 山下利彦 議員

- 峡南南部医療再編計画の最終報告に対し方針転換の要望について

4 佐野 昇 議員

- 令和7年度教育方針について
- 子ども・子育て支援事業について
- 観光施設の現状について

5 渡辺文子 議員

- 訪問介護事業所への支援策を
- 補聴器購入費用の補助制度について
- 道の駅にしじま和紙の里かみすきパークについて
- 飯富病院から身延山病院への足の確保について
- 小学校入学児に軽量タイプの通学カバンの支給を

※ここに掲載の順位は質問の通告順によります。紙面の関係上、次頁からの掲載の内容は質問を一部抜粋し要約したものを掲載しています。すべての項目は、各議員の一般質問のページのQRコードからYouTubeよりご覧ください。

御礼 27人の皆様が熱心に傍聴されました。お忙しい中、傍聴頂きありがとうございました。次の定例会は、令和7年9月に開催の予定です。どなたでも傍聴できます。議会の傍聴にぜひお越し下さい。詳細日程は議会情報のウェブサイト等でお知らせします。

問 指定管理者制度を導入するというが、すでに想定している指定管理者と折衝等が進められているのであれば、その状況等について伺う

答 まず公募により指定管理候補者を選定し、早い段階からかわりを持ってもらう。幸いにも、現在応募について検討している事業者があることは、答えさせていただく(町長)



伊藤 達美 議員



全編はこちら

飯富病院の統合に向けての諸問題について

問 統合に際しては、指定管理者制度を導入するとしているが、公募してから管理者と接触するのでは遅い。すでに想定している指定管理者と折衝等が進められているのであれば、その状況等については。

町長 現在の想定では、まず公募により、指定管理候補者を選定し、指定管理者となることを前提として医療再編の具体的な取組みに早い段階からかわりを持ってもらう。それにより、目標である令和9年4月の医療再編とその後の管理運営の円滑化に資することができる。あくまでも公募手続きを経て候補者を選定していく。幸いなことに、現在応募について検討している事業者があることは、答えさせていただく。

問 現状では町内にある二つの病院の組織が異なる。一つは公益財団法人で民間の団体。もう一つは一部事務組合で特別地方公共団体である。組合立病院の職員が民間へ転職することを承諾するかどうかが、再建に向けての課題。このため、管理者は懇切丁寧な説明を職員に対して行うべきであるが。

町長 飯富病院、身延山病院、南部町の診療所の職員は一旦退職し、本人の希望により改めて指定管理者の職員として雇用契約を結ぶことになる。指定管理者の職員となることを承諾するかどうかの職員の意向確認は、給料等を含む雇用条件を示す必要があり、この雇用条件は実際に指定管理者が選定され協議がなされなければ、具体的に示すことはできない。まずは3町を構成員とする一部事務組合を設立し、本年度中に指定管理候補者を選定したうえで、雇用条件等について十分詰めたうえで、職員に対しては個別の面接等を通じて指定管理者との雇用契約について意向確認をしていきたい。

問 町の重点施策と親和性の高い分野での自治体職員副業推奨のための制度設計の検討は

答 担い手不足が深刻になってきている「あけぼの大豆」の生産に関わる分野で、現在、産業課と副業を認める制度を検討している(総務課長)



遠藤 公久 議員



全編はこちら

蛍光灯2027年問題と公共施設への対応について

問 町管理の公共施設において、LED化の進捗状況は。

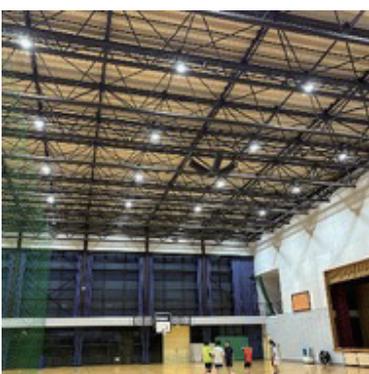
問 当町独自の補助制度の創設や国、県などの事業者向け助成制度や補助金などの周知や啓蒙、取り組みは。

環境課長 現時点では一般家庭への助成等は検討していない。今後の社会情勢や国、県の動向を注視しながら、LED化を含めた脱炭素施策に対して効果的な成果が得られるよう努めていく。

再質問 在庫で何年程度の対応が可能であるか。また、最終的なLED化計画完了の見込み、目標はいつか。

財政課長 在庫数200本を継続して確保した場合には、調達できなくなった時点からおおむね2年間程度は対応できると見込んでいる。調査・整理後は、LED化移行完了の見通しを立てて計画的に実施をしていく。

問 一般家庭は、照明が使えなくなるリスク、器具切り替えの経済的負担も大きくなる。また、悪徳業者による詐欺



LED化済みの町民体育館

問 峡南南部医療再編計画の最終報告に対して方針転換を (医療・介護提供体制の縮小から、地域創生のための充実強化を)

答 入院需要の将来推計から必要病床数を勘案し、機能や人員の集約で持続可能な医療提供体制を確保する(福祉保健課長)



やました としひこ 議員
山下 利彦



全編はこちら

縮小から充実強化を

問 病床の大幅削減は、急病や慢性疾患の管理、終末期医療への対応力低下や在宅介護の限界を招き、地域生活の基盤崩壊につながる。縮小一辺倒ではなく、人口減少や地域活性化対策として、より充実した医療体制再構築への方針転換は考えられないか。

福祉保健課長 コンサルタントの最終報告書は、峡南南部地域の入院需要の将来推計や地域医療構想における必要病床数などを勘案し、一定の機能や人員を集約することを提案しており、峡南南部地域の持続可能な医療提供体制を確保するものと評価している。

予算の投資的意義

問 老健施設の改修工事には予算がないとし2階・3階を閉鎖する一方で、今回、9億



灯の消えた老健施設

円投資され「道の駅」が整備された。予算執行には投資的意義と優先順位を見極める必要がある。町民が住み続けられる地域の持続可能性を高めるための「人口投資」についての考えは。

福祉保健課長 令和6年第3回定例会において、老健施設は入所者数を縮小しながらも長期入所の施設サービスを継続していることや、病床数縮小などの運営方針は飯富病院議会で、病院側の詳細な説明がなされたうえで決定したと説明している。町の予算配分の優先順位にはバランスよく効率的な財政運営が重要と考える。今回の医療再編は医療崩壊を防ぎ、人口減少局面においても地域住民に適切な医療を持続的に提供できる体制構築を目指すものであり、最優先の課題であると認識している。

問 令和7年度教育方針 児童生徒に対して、将来の目指す姿は

問 確かな学力の向上とともに、豊かな心や健やかな体を育み、「生きる力」を身に付けた児童生徒を育てる教育を推進する(教育長)



さの のぼる 議員
佐野 昇



全編はこちら

教育環境・体制などから決 定した教育方針の考え方は

問 教育長として、特に力を入れて取り組む施策、そして将来への思いは。

教育長 これまでの取組みを継承・発展させながら、更に充実させていく。重点課題として、「学校の働き方改革を進め、教職員の超過勤務時間を減らす」「学校運営協議会を設置し、地域住民の参画など学校教育の更なる充実を目指す」「部活動の地域移行に向け、令和8年度を目標に一部部活動の地域展開を目指す」。また、児童生徒数の急激な減少が想定されるが、長期的な展望に立って施策を検討していく。

問 公民館は生涯学習の場だけでなく、地域と一体となる場を目指すとは。

教育長 公民館は、地域コミュニケーションのセンター的機能を

果たす重要な役割を担っている。様々な交流の場、地域の活動拠点として、機能を十分果たせるよう支援する。

問 大企業では英語会議が盛んになり、世界中とTV会議で情報共有する時代、世界的な競争と共生が進む中、海外で活躍する児童生徒が必ず出てくる。英語力の向上についての考えは。

教育長 グローバル化が急速に進展している現在、英語教育の推進、特に英会話力の向上は本町の学校教育の重点課題に位置付けている。外国人と気軽に会話ができ、将来グローバル展開できる児童生徒の育成を目指し、英語教育、特にコミュニケーション力向上に取り組む。



問 高齢になっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために 訪問介護事業所への支援策を

答 訪問介護事業所だけに町が助成金を支給するのは難しいが、基本報酬を是正するよう国へ要望したい(福祉保健課長)

問 山梨県で補聴器購入費用の補助制度を創設した。この制度を導入しながら町として対象者の拡大など上乗せも行い、早急に実施すべきと思うが。

補聴器購入費用の補助制度について

福祉保健課長 訪問介護事業所だけに町が助成金を支給するのは今の段階では難しい。しかし、機会を捉えて基本報酬を是正するよう国へ要望したい。

問 昨年からの訪問介護基本報酬が引き下げられたことにより、訪問介護事業所の倒産は、昨年過去最多を更新した。介護が必要になったときに安心して訪問介護を受けることが出来るよう、訪問介護事業所への支援が必要だと思いが。

訪問介護事業所の倒産が昨年過去最多だった



わたなべ 渡辺 文子 議員



全編はこちら



かみすきパーク「たべもの館」

観光課長 来場者数や売れ行きを見ながら野菜などの取り揃えを徐々に増やす。おざらも早急に提供出来るよう指定管理者に要望した。

問 道の駅にしじま和紙の里かみすきパークについて、多くの皆さんから「野菜が少なくてがっかりした」という声や、レストランでおざらなどのメニューがなくなり残念という声があった。こういう住民の皆さんの声は、いかされるのか。

多くの皆さんの期待に添えられる道の駅に

福祉保健課長 現在峡南地区の各町と情報交換を行いながら県の事業に沿った事業実施準備を進めている。

議会広報モニター意見交換会

開催日：令和7年4月21日(月)

参加者：議会広報モニター5名、議長、議会広報委員、事務局職員2名

議会広報モニターの皆様と意見交換会を実施しました。いただいたご意見などをもとに今後の議会だよりづくりに反映し、町民の皆様によりわかりやすく、親しみやすい「議会だより」を目指して、議会広報編集委員一同、しっかりと取り組んでいきます。



主な意見や感想

- ・紙面全体が色使いやレイアウトの工夫で見やすくなった
- ・見出しがわかりやすく、関心を引く工夫がある
- ・内容がやや難しい部分があるので、表現の工夫を期待
- ・写真の選び方や配置によって印象が大きく変わる
- ・若い世代にも興味を持ってもらえるような工夫がほしい

? 議会広報モニターの役割とは?

議会広報紙の改善を目的として、年4回ある定例会後に発行される「みのぶ議会だより」を読んでもらい、読みやすさ、わかりやすさなどについて町民目線で意見や感想などを提供していただきます。それらの意見や感想などは議会だよりの「モニター通信」(今号は15ページ)に抜粋して掲載しています。

令和7年度 町長行政報告

道の駅にしじま和紙の里かみすきパーク、ヘルシースパサンロードしもべの湯のさらなる集客の企画運営に指定管理者と連携して、交流人口の拡大を目指す



身延町長
もちつき 望月 幹也



全編は
←こちら

- ① 令和6年度一般会計をはじめとする全会計において黒字決算となる見込みです。
- ② ヘルシースパサンロードしもべの湯の令和6年度の入館者数は、延べ120,435人で月平均約10,000人となり、前年度比で15%の増となりました。
- ③ 道の駅にしじま和紙の里かみすきパークのオープン後の来訪者数について、一か月経過した5月17日までのレジ通過客数は延べ10,700人となり、物販、レストランとも予想を上回る利用者数でした。来館者の内訳は山梨県内の町外の方が約6割、町内の方、静岡県、神奈川県の方がそれぞれ約1割です。

第58代の山梨県町村会長に選任されました。任期は令和7年6月1日から令和9年7月30日までの2年2カ月となります。

全国町村議会議長会表彰

【自治功労者表彰】

・町村議会議員として27年以上
在職し、功労のあった者

渡辺文子議員（下部地区）



・町村議会議員として15年以上
在職し、功労のあった者

野島俊博議員（身延地区）



◎主な議会の動き【令和7年4～6月】

4月

- 4日 第4回議会広報編集委員会(第82号)
- 7日 町内3小学校入学式
- 8日 身延中学校入学式
- 9日 議会広報編集委員会正副委員長最終確認(第82号)
- 9日 議会改革推進特別委員会
- 16日 道の駅にしじま和紙の里かみすきパーク竣工式
- 16日 教育厚生常任委員会
- 21日 議会広報モニターとの意見交換会

5月

- 16日 身延山クリーン大作戦
- 17日 県民緑化まつり
- 17日 町民と議員との懇談会(身延地区)
- 21日 議会改革推進特別委員会
- 21日 町民と議員との懇談会(中富地区)
- 24日 第4回議会運営委員会
- 26日 自治功労者表彰式及び町村議会議員研修会
- 27日 教育厚生常任委員会
- 27日 町民と議員との懇談会(下部地区)
- 27日 町民と議員との懇談会(下部地区)
- 28日 町村議会正副議長全国研修会(東京都)
- 31日 町民と議員との懇談会(下部地区)

6月

- 2日 第3回議員全員協議会
- 2日 第1回議会広報編集委員会(第83号)
- 9日 第2回定例会
- 9日 第2回議会広報編集委員会(第83号)
- 19日 第3回議会広報編集委員会(第83号)
- 30日 第3回議会広報編集委員会(第83号)

★表紙(P1)

○町のトピックスであり、いろいろな角度からの写真構図が分かり易く興味を惹かれました。

○本町の自慢すべき伝統工芸のひとつとして、県外から来る人にアピールする観点からも、まず町民に宣伝力・アピール力を高めてもらう事が必要。そのためには、建物紹介も必要だとは思いますが、紙面の真ん中に、かみすき作業をしているインパクトある写真を採用してもいいのではないかと思った。

広報みのぶ6月号にかみすき作業の様子が表紙になっています。できるだけ重複しないように努めています。

★令和7年度当初予算を捉える 議員14人が取り組む課題と展望 (P2)

○「議会だより」に掲載したからには、各議員の課題と展望に責任をもって取り組んでください。一定期間が過ぎた時にその成果を掲載してください。

★令和7年第1回定例会 おもな議案(P3～5)

○文字が大きく、説明も簡潔で、なおかつ写真があるのでわかりやすく、時間がない人でもさらっと読むことができます。

○見やすく良かった。できれば、自主財源の比率(31%)が高いのか低いのか、どこかで表せば町民の意識レベルに影響が出るかも？

★常任委員会レポート (P6～7)

○細かな所までの問いかけと、回答が分かりやすく記載されていると感じます。

○予算決算委員会の報告では、P4-5に取り上げられていない予算についても知ることができ、よかったです。総務産業建設常任委員会についても、分かりやすくまとめられています。

モニター通信

(議会だよりNo.82の意見・感想等)

議会広報モニターの皆様のご意見・ご感想等を要約したものです。貴重なご意見等を参考に、町民の皆様に見やすく伝わりやすい議会だよりを目指します。

★本会議討論(P8～9)

○賛成、反対と意見が対比して記述しており、興味深く読むことができる。わかりやすく良いと思う。

○他市町村と比較し、住民の人口に対して平均どのくらいの人数の議員が選出されているのかというような情報もあると読者の考えも持ちやすいと感じました。

★議案に対する賛否(P10)

○議案が一覧で表記されていて、多くの議案があることを把握できます。

★一般質問(8人) (P11～15)

○最初に質問がまとめられているので、概観できます。質問・答弁が、お一人半ページになって、どの質問を取り上げるか悩むところだと思いますが、読者は読み進めやすくなりました。

議会だより82号より1人半ページにし、できるだけ関連写真などを1枚載せるようにしました。

○議員の写真付きで読みやすい配置だと感じます。質問内容もどれも大切なことだと思います。

★町長施政方針・教育長教育方針 (P16)

○箇条書きで読みやすくまとめられています。配色もさわやかです。YouTubeで全文を確認できるので、このまとめ方で良いと思います。QRコードを使えない方も、お近くの若者に頼めるとよいですね。

★主な議会の動き、 人権擁護委員に推薦、 町民と議員との懇談会(予告) (P18)

○見出しの色と囲み線、地色を変えて囲み線無しで構成し、異なる3つの内容が見やすく整理されています。

★モニター通信(P19)

○モニターさんの感想に、回答が載っているのが新しく、非常に良いと感じます。全てには難しいと思うので、これからも抜粋して解答コメントを載せていけば良いと思います。

○モニターさんの意見・質問に丁寧に回答くださってありがとうございました。感想を載せて頂くと励みになり、また、皆さんの意見は参考になります。

★おじゃまします(P20)

○歴史ある活動なんですね。自分の地域では若手が減少し、神輿が出せずに神事のみとなりました。このような活動を続ける皆さんは素晴らしいですね。

○写真の子どもたちがまた大人になって飯富親友会に入会されるといいですね。

○飯富親友会の皆様、年間を通し地域活性化の活動、本当に素晴らしい。お囃子の音楽が聞こえて来るようです。衣装も伝統的に伝え、是非守ってください。

★町政へのご意見・ご要望

○かみすきパークが期待通りの成果を上げられることを願っています。飯富病院の運営に関して、議員の皆様には引き続きご尽力ください。

○予算の議論で、町民が知りたいのは予算金額と用途が適切であるかだと思う。個々の議論を掲載してほしい。

過去の議会だよりは、
こちらから閲覧できます。





峡南生き生き元気プロジェクト

人口が減少した静かな農村に多くの人に集ってもらい、地域に活気を取り戻そうと「峡南生き生き元気プロジェクト」を結成し、大城地区にある耕作放棄地・遊休地となっているお茶畑で「手摘み茶体験会」を5年前から行っています。

プロジェクトのメンバーや有志の皆さんと1年かけて草取りや草刈り、整枝、施肥を行います。今年の体験会は5月4日に行い、保育園児から93歳の方まで103名の方が参加し、午前2時間、お茶の葉を摘み、昼食では、大島農林産物直売所の「助六寿司」と富士川町の有志が調理した郷土食「みみ」、また、地元大城地区の方のご好意によるつきたての「草餅」をいただきました。どれもおいしく、笑顔で和気あいあいと楽しい時間を共有することができました。



子どもたちも一生懸命



摘んだ葉を前に体験会参加者(5月4日)



大城地区と茶摘み風景

編集後記

議会広報編集委員会

委員長 深山光信
副委員長 遠藤公久
委員 望月悟良
佐野知世
山下利彦
昇野

川面に響き渡るカジカの声を聴くと、一時の暑さを忘れ、どこか心に安らぎを覚えます。とかく固くなりがちな広報紙づくりには、広聴を起点として、モニターからのご意見を頂く中で、多くの皆様に親しまれ、読んでいただけるよう編集委員一同取り組んでいます。(望月)

協力者募集

プロジェクトを維持するためには、お茶畑の整備が必要です。お力を貸していただける方は、下記までご連絡をお願いします。

峡南生き生き元気プロジェクト

代表 望月 深雪
連絡先 090-8311-0180